

平成 28 年度 第 1 回軽米町総合教育会議 議事録

1 日時 平成 28 年 5 月 18 日 (水) 午後 2 時 30 分から

2 会場 軽米町役場 2 階第 1 会議室

3 出席者

(構成員) 山 本 賢 一 町長

戸草内 勝 夫 教育委員長

兼 田 寿 教育委員

関 向 玲 子 教育委員

田 端 守 教育委員

菅 波 俊 美 教育長

(事務局) 佐々木 久 教育委員会事務局次長

大清水 一 敬 同 次長補佐

工 藤 薫 同 教育総務グループ長

八ツ役 真司 同 指導主事

(関係者) 三 浦 由 和 軽米小学校校長

浅 倉 圭 同 副校長

藤 本 実 小軽米小学校校長

八重樫 浩 同 副校長

工 藤 健 三 晴山小学校校長

石 橋 和 彦 軽米中学校校長

野 原 勝 博 同 副校長

4 あいさつ 〈町長〉

学校統合が一定の成果を上げたことから、統合後のメリットを最大限に生かして行きたい。これまで小中高の連携を大切に進めてきたが、今年度は、県立軽米高校に中高一貫校で成果を上げている高校から校長先生を迎えたことで、良い契機となればと考えている。本日は、学校運営について各学校から聞く良い機会なので、十分な意見交換を行いたい。

5 協議事項

(1) 平成 28 年度軽米町教育委員会の主要事業について

(2) 平成 28 年度軽米町立小中学校の学校運営方針について

(3) その他

6 協議内容

(1) 平成 28 年度軽米町教育委員会の主要事業について

①教育総務グループ事業説明（教育総務グループ長）

質疑

〈町長〉 学力向上支援員の役割、活用について説明を願う。

→指導主事 学級担任の補助及び個別指導、学習上配慮の必要な児童生徒の学習支援を行っている。

〈教育長〉 学力向上支援員の業務については、支援員それぞれが学習支援計画を作成し、目的を持った形で児童生徒の学力向上に取り組んでいる。各学校へ特別支援員と学力向上支援員の 2 種類の支援員を配置しているが、それぞれ担任と連携し、役割を明確にしながら活動している。

②生涯学習グループ事業説明（次長補佐）

(2) 平成 28 年度軽米町立小中学校の学校運営方針について

〔設定時間 各校 30 分〕

① 軽米小学校学校運営方針説明

質疑

〈町長〉 町で配置している学力向上支援員の活用等説明いただいたが、今後更に学力の向上を進めるための支援要望等はあるか。

→校長 まずは配置されている学力向上支援員を有効に活用したい。子どもたちが授業中にできること、業間・放課後にできること、家庭でできることをしっかりと取り組むように指導したい。また、支援員については役割をしっかりと決めて活動してもらうことが大事と思っている。

〈町長〉 家庭学習も大事であると考えますが、父兄の協力を得るためには P T A との連携が大事だと思っている。学校の考えはどうか。

→校長 学びフェストを決める際は、P T A 役員等の意見を聞いている。

また、家庭との連携も重視している。昨年は、年3回中学校のテスト期間に合わせてノーメディア週間の取り組みを行った。家庭での歯磨き、読書、ノーメディア、学習時間の記録をお願いして、その調査結果については、保護者に知らせ、次回の協力をお願いしている。

〈町長〉 ICT機器の整備については、町も力を入れてきたが、今後の有効活用について聞きたい。

→校長 新しく赴任して来た教師もいるので、現在学校に整備されたICT機器を授業で使いこなせるようにすることに取り組んでいる。今後、機器に詳しい外部講師を数回招き、実際に授業に使いながら教師全員が有効に活用できる体制を作っていきたい。当初は、教室にタブレットを置いていなかったが、要望により現在はすべての教室に配備して活用している。

〈委員長〉 近年子どもたちの体力が衰えていると言われているが、体力向上について学校の取り組みはどうか。

→校長 朝マラソンの取り組みを始めた。マラソンのないときは、赤レンガホールで縄跳びを行っている。体育館には、的を作って楽しくボール投げをできるように工夫している。最近運動会の練習を始めたが、熱中症に気を付けながら、安全な組体操にも取り組み、体力向上を目指している。

〈委員〉 ICT機器は、子どもたちがタブレット等を使って発表し、意見交換をするなど関わり合いをしながら学力向上を図る活用例も考えられる。また、授業の進め方について、先生方相互に参観し合っ
て、効果的な授業を進めてもらいたい。

→校長 昨年のタブレットを活用した学習では、道徳、音楽などグループで意見交換など行っている。授業の進め方については、職員研修を行いながら更にわかる授業をつくって行きたい。

② 小軽米小学校学校運営方針説明

質疑

〈委員長〉 昨年の学校訪問では、地域、P T Aとの連携が良いと感じた。今後もより連携を深めて、子どもたちの学力向上に努めてほしい。また、外部評価を取り入れていることも良いと思う。

→校長 P T Aについては、うまく連携出来ており、大変協力的である。学校公開の際にも協力いただいた。学校広報等を活用してさらに理解を深めて行きたい。

→副校長 学校への奉仕活動として、児童数の減少もあって、昨年度は3回の清掃活動、プールの清掃など広く地域の方々から協力をいただいている。はなまるパート活動は、月1～2回ほど子どもたちの基礎的な学習のためのテストに父兄から○付けの協力をいただき共通理解を深めている。

〈町長〉 当地区は、これまで学校統合が多い地域だが影響はどうか。また、旧小学校から引き継いだちびっこ消防団活動など行っているようだが今後の取組みについて聞きたい。I C T機器の活用についてはどうか。

→校長 学校統合については、先ごろ笹渡小学校と統合したが、当地区は教育熱心な地区で、それまで行っていた読書ボランティアを統合後も継続して協力いただいている。小玉川のちびっこ消防団も継続して熱心に活動しており、消防演習にも引き続き参加していきたい。子どもたちは学校統合後、地区に関係なく、学習、運動に親しく活動している。I C T機器の活用については、本校にもタブレット等配備いただいた。機器の活用研修も講師を招いて行い、また、校内の研修も行いながら広く活用していきたい。

〈町長〉 I C T機器については、活用する教師の力量が大切なところなので教員研修等により有効活用をお願いします。

③ 晴山小学校学校運営方針説明

質疑

〈町長〉 肥満の割合が高く、スクールバス等の通学方法が原因の一つと指摘されている。行政側から徒歩通学を進めるのは難しいところもあるが、学校やP T Aの立場から健康づくり体力強化の面から徒歩通学を推進することは素晴らしいことと思うがどうか。

→校長 保護者の皆さんの理解が得られるならば、歩道等がある場合は、安全を考慮に入れながら、一定の距離のところは徒歩通学することなども方法である。本校は、今年度体力向上に力を入れたいと考えているので、校内ランニング等を取り入れながら、一層の体力強化を図っていききたい。

〈町長〉 ICT機器の導入を町で進めてきたが、活用策について伺う。

→校長 デジタル教科書についてはかなり活用している。昨年度タブレットを導入していただいたが、パソコンに詳しい教師がおり、校外講師と共に校内研修等を行いながら授業での効果的な活用を図って参りたい。

〈町長〉 各種統計結果を活用して数値的な面から自分の学校を評価していく姿勢は良い着眼と思う。意識的に目標を持って学校運営を行っていただきたい。

④ 軽米中学校学校運営方針説明

質疑

〈町長〉 学校統合となってから3年目を迎えたが、その影響はどうか。また、学力調査の結果が学年で違うがどのように分析しているのか。

町ではこれまで中高一貫教育を進めてきたが、今後どのように進めたらよいか。

→校長 中高一貫教育については、中高の先生方が授業レベルで交流することは、たいへん有益と思う。子どもの進学については、それぞれの子どもに将来の夢があることから、基本的に進学先は子どもの自由と考えるが、今後一層地元高校と連携しながら町の教育を充実させていきたい。統合3年目の影響については、何も問題点は感じない。前任校も統合した学校であったが、ジャージの色が多少違って子どもたちはすぐに打解けて何ら問題はない。今年は、ジャージの色も統一される。PTAをはじめ関係者も大変協力的であり、心強く感じている。学力調査については、県平均から多少プラス、マイナスがあったりするが、個々の問題の分析などを大切に行い、授業改善につなげる取り組みを学校として行っている。今後も努力して参りたい。

〈町長〉 英語検定については、過去に小軽米中学校で集中した取り組みがあり、成果を上げた経験を参考として助成事業を行っているが、英語力向上のため、さらに良い方法があれば検討する必要があると思うがどうか。

→副校長 本校では、毎週月曜日をノー部活デーとしている。英語検定に向けては、月曜日の放課後、英語教師の指導により級別に分かれて学習時間を設けている。全生徒が目標を持って取り組むことで、学習意欲向上にもつながっている。

〈教育長〉 英語検定について言えば、中学校は大変努力している。昨年の3年生は、英検3級取得が54%であった。ちなみに県の平均が33%、全国平均が37%、県の平成29年度の目標が51%となっている。今後も継続した取り組みを期待している。

〈委員長〉 中高一貫教育については、地元高校で出前授業のメニュー等用意していると聞いているので、中高一貫教育の推進の中でうまく活用しながら、連携を深めていただきたい。

○閉 会